

ノ關係ヲ生ズルモノトス然ルニ此等復雜極リナキ幾多ノ物權及ビ債權ノ關係ヲシテ各人間ノ利害ニ偏重偏輕ナク公平ニ之ヲ調和統一シ且ツ輕便ニシテ商取引ノ狀態ニ適應セシメントスルニハ單ニ民法上ノ賣買消費貸借及ビ質權等ノ規定ニノミ依據スルコトヲ得ズシテ必ズ此原則的規定ノ外手形法ヲ準用シテ以テ適當ノ規定ヲ設ケザルヘカラズ商法第三百六十八條第三百乃至七十二條第三百七十四條ノ規定ノ如キハ固ヨリ此趣意ニ出デタルモノナリト雖モ其ノ規定甚タ不完全ニシテ或ハ民法ノ規定ニ讓リタルモノ多キニ失シ或ハ便利ヲ計ルニ偏シテ害因ヲ除去スルニ足ラザルモノアリ或ハ不明ニシテ疑義ヲ生ズルモノアリ故ニ二證券ヲシテ單獨各別ニ完全ナル流通ヲ爲スコト能ハザラシメタリ請フ左ニ之ヲ細說セン

現行法ニ於テハ預證券ノ讓渡代金ノ受拂ニ付キテハ全ク當事者ノ賣買契約ニ讓リ何等規定スル所ナシ第三百八十條ノ如キモ單ニ第三取得者ガ其ノ取得物ノ負擔ヲ除去センガタメニスル辨濟タルニ止マレリ然レドモ第

（評）
 買ハ英法ノ手付金
 ニシテ其ノ性質
 ハ佛者ノ買金
 異ニス故ニ若シ
 手付買金ノ爲メ
 ニ買入書ニ爲ス
 書ハ之レニ示ナ
 ノ意思表示ナリ

一ノ質入裏書前ニ於ル預證券讓渡ノ場合ニ於テハ其讓渡代金ノ約三分ノ一乃至五分ノ一ヲ受取リ其ノ殘金ハ讓受人ヲシテ質入證券ニ裏書ヲ爲サシメ讓渡人其質債權ヲ取得シ又第一ノ質入裏書後ニ於ケル讓渡ニ付キテハ讓受人ハ其質債務ヲ引受讓受代金ノ内ニテ質債務額ヲ控除シ其ノ殘金ハミヲ讓渡人ニ支拂フ場合甚タ多シトス是レ即チ質債務ハ順次預證券ノ讓受人之ヲ負擔シ其ノ差額ノミヲ授受シテ事足ルガ故ニ少額ノ資金ヲ以テ多額ノ商取引ヲ爲スヲ得シメ自ラ金融ヲ緩和ナラシムルモノニシテ實ニ商工經濟ノ要義ニ適合セルモノナリトス約言スレハ二枚證券制度ノ目的ハ其ノ復雜ナル取引ヲ可及的簡易ニシ相互差引決算ノ法ニ依リ現金受渡ノ數額ヲ減少セシメンガタメニ外ナラザルナリ若シ夫レ一取引毎ニ必ズ其ノ代金全額ノ授受ヲ爲サシメン乎之ト同時ニ質債務モ亦之ヲ辨濟シテ消滅セシメザルベカラズ果シテ然ラバ何ゾ二枚證券制度ヲ設クルノ要アラシ故ニ彼ノ預證券ニ依ラザル信用取引ノ場合ニ於テ賣主ガ其ノ代金

ノ取立トシテ爲替手形ヲ發行シ銀行ヲシテ之ヲ割引セシメ又買主ハ其ノ手形ノ引受及ビ支拂ヲ以テ代金ノ辨濟ヲ爲スガ如ク預證券ノ讓受人ヲシテ其ノ證券ニ記載シタル金額及ビ其ノ利息ノ辨濟ヲ引受ケシメ以テ其代金ヲ辨濟セシムルノ簡且ツ便ナルニ如カザルナリ然レドモ預證券ハ爲替手形ト異ナリ質入證券ト各別ニ單獨シテ別人間ニ轉帳シ質入證券ノ所持人ハ預證券ノ所持人ヲ知ルコト稀ナルヲ以テ法律ニ於テ質入裏書アル預證券ノ所持人ハ其證券ニ記載シタル金額及ビ其利息ノ辨濟ヲ引受ケタルモノト看做スベキコトヲ規定スルヲ要ス或ハ純然タル法理上ヨリ觀察スルトキハ質債權者ト預證券所持人トノ間ニ何等ノ法律行爲ナキモ債權債務ノ關係ヲ生セシムルコト即チ法律ヲ以テ讓受人ニ債務ノ辨濟ヲ引受ケシムルコトノ如キハ是認シ難キニ似タリト雖モ他ニ其立法例ナキニアラス殊ニ二枚證券制度ハ前段既ニ述フルガ如ク元來便宜法ニシテ純理ノミニ據レルモノニ非ズ故ニ其二證券ニ因ル取引ノ結果ヲ調和統一ナラシメ

ンニハ勢ヒ亦弊害ナキノ限度ニ於テ假令法理ニ合致セザル點アルモ事實上便利ナル方法ヲ採用セザルベカラズ而シテ此規定ハ毫モ弊害ナクシテ實際上甚タ利便ナルヲ信ズ何トナレバ此規定ナキトキハ賣買契約ニ於テ必ズ代金受拂ノコトヲ特約シ實際ニ其受授ヲ爲サ、ルヲ得サレバナリ加之此質入證券ハ一種ノ擔保附爲替手形トモ謂フベキモノナルヲ以テ商人ノ信用薄クシテ擔保附手形ノ流通盛ナル今日ニ在リテハ其商取引ヲ助成シ金融ヲ緩和ナラシムルノ益更ニ大ナルモノナリトス
既ニ預證券ノ所持人ヲ以テ其ノ證券ニ記載シタル金額及ビ其ノ利息ノ辨濟ヲ引受ケタル者ト看做スニ於テハ法律ヲ以テ其ノ支拂ノ場所ヲ推定シ債務者ニ對シ直ニ請求セシムルコトヲ避ケシムルヲ要ス何トナレバ預證券所持人ニ於テ其ノ辨濟ヲ引受ケタル以上ハ債務者タル第一ノ質入裏書人ニ於テハ其ノ支拂ノ準備ヲ爲シ居ラザルニ突然支拂ノ請求ヲ受ケ又ハ拒絕證書ヲ作成セラル、ガ如キコトアラバ其ノ辨濟ヲ引受ケシメタルノ

(評二)倉庫所
シテ質入証券ヲ
持人ノ請求ニヨ
リシムルハ相取
ナ

效ナキノミナラズ偶以テ其ノ信用ヲ害スルノ結果ヲ生ズルコトアレバナ
リ而シテ其ノ支拂ノ場所ハ倉庫證券ノ中心點タル倉庫營業者ノ營業所ヲ
以テスルノ適當ニシテ且ツ至便ナルヲ信ズ
又商品ノ競賣ハ執達吏ヲシテ之ヲ爲サシムルトキハ商品ノ弊價ヲ失墜ス
ルノ虞アリ是ヲ以テ從來質債權者ハ商法第二百七十七條ニ依リ質權設定
ノ際特約ヲ結ビ適宜ニ之ヲ處分シ假令質債務者ニ對スル保護十分ナラサ
ルモ商品質物ノ競賣ヲ執達吏ニ委任セシコト甚ダ稀ナリ故ニ商法中特ニ
規定ヲ設ケテ質債權者ノ請求ニ由ル寄託物ノ競賣ハ倉庫營業者ヲシテ其
ノ信用上ノ責任ヲ以テ之ヲ爲サシムルコト、爲スノ便且ツ利ナルニ如カ
ザルナリ
商法第三百七十條第二項ニ所謂利息ニハ辨濟期前ノ利息ノミナラズ期限
後ノ利息即チ不履行ニ因ル損害ノ賠償ヲモ包含セシムルノ意ナルベシト
雖モ民法第三百四十六條ノ規定ト判決例トニ依レバ利息ニハ損害ノ賠償

ヲ包含セズトノ反對論ヲ是認セザルベカラザルヤノ疑ヒアリ又轉帳力ヲ
有スル質入證券ニ利息ヲ記載スルハ其利率ヲ異ニセル第二以後ノ裏書讓
渡ニ惡影響ヲ及ボスノ虞アリテ其ノ所持人之ヲ欲セズ又利率ノ記載アル
預證券ヲ讓渡スハ其ノ利率ヲ他人ニ知ラシメ時ニ自己ノ信用ヲ害スルコ
トアリテ是レ亦其所持人之ヲ欲セズ又預證券讓渡ノ際其ノ代金ノタメニ
質入裏書ヲ爲ス場合ニ於テハ支拂フベキ利息ナキコトアリ故ニ質入證券
ハ彼ノ手形ヲ割引スルガ如キ利息ヲ前拂ト爲シ又ハ手形ヲ振出スガ如ク
其ノ利息ヲ證券面ニ記載セザルヲ以テ利便多シトス然ルニ商法第三百六
十七條ニ於テ利息ノ記載ヲ以テ第一ノ質入裏書ノ要件ト爲シ利息アルト
キハ其ノ利息ト云フノ意ヲ表示スルニ足ルベキ文字ヲ用ヒザルガタメ利
息ノ定メナキ場合又ハ利息ヲ前拂ト爲シタル場合ヲ認メザルヤノ疑アリ
又質入證券ニ利息ノ記載ナキ質債務ノ不履行ニ因ル損害ノ賠償ハ前拂ノ
利率ニ依ルベキカ又ハ法定利率ニ依ルベキカノ疑アリ故ニ第三百七十條

(評三) 此等ノ
疑問ハ特ニ法文
ヲ設ケルノ必要
ナシ否ナル此等ハ
皆ナ法律上ノ疑
問トナラザルナ

第二項ニ此等ノ疑問ヲ解決スルニ足ルベキ但書ヲ設ケ以テ頻繁ナル商取引ヲ阻害スルハ虞ナカラシムルハ必要アリ
又競賣代金ノ分配ニ關スル事項ハ第三百七十條ニ之ヲ規定セラレタリト雖モ質入證券ニ第一ノ質入裏書後寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生ジタル預證券ノ所持人ガ受クベキ金額ニ付テハ如何ニ之ヲ處分スベキ乎更ニ規定スル所ナシ故ニ質入證券ノ所持人ガ該金額ヲ以テ質債權ノ辨濟ニ充當セント欲セバ民法第三百五十條及ビ第三百四條ニ依リ差押ヲ爲サザルヘカラザルト同時ニ倉庫營業者ハ該金額ノ處分ニ關シ何等ノ權利ヲモ有セザルナリ是レ目的物ノ變更ヨリ來ル自然ノ結果ナリト雖ドモ倉庫營業者ガ保管スル寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生ジタル金額ハ民法ニ規定セル場合ト其ノ趣ヲ異ニシ即チ保險金又ハ損害賠償金ノ如キ概ネ倉庫營業者ヨリ又ハ倉庫營業者ヲ經テ支拂ハルベキモノナルヲ以テ特ニ差押ヲ爲サシムルヲ要セズ彼ノ競賣代金分配ノ規定ヲ準用シテ直ニ倉庫營業者

ヲシテ先ヅ質入證券ノ所持人ニ支拂ハシメ尙ホ殘餘アリタルトキハ之ヲ預證券ノ所持人ニ支拂ハシメ商取引ノ關係ヲシテ可成速ニ濟了セシムルノ途ヲ講ゼザルベカラズ若シ其ノ金額ニ付キ倉庫營業者又ハ其ノ他ノ者ト預證券ノ所持人トノ間ニ爭アリテ速ニ支拂ハレザルトキハ之ヲ其支拂フベキ金額ナキ場合ト同視シ別ニ解決セシムルノ勝レルニ如カサルナリ
商法第三百七十二條ノ債務者ハ何人ナルカニ付キテハ管ニ學者間ニ其ノ意見ヲ異ニセルノミナラズ其ノ請求モ亦手形法ノ償還請求ノ例ニ依ルベキモノナリヤ又其ノ請求ヲ受ケタル者ハ更ニ其ノ前者ニ對シテ請求スルコトヲ得ルカ又預證券ノ讓受人ニ對スル支拂未濟金額ノ請求賣買代金ノ形式ニ依ラザレバ之ヲ請求スルコトヲ得ザルカ其ノ他請求ノ要件就中寄託物ノ滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テハ如何ナル手續ニ依リ請求シ得ルカ及ビ裏書人ガ其ノ前者又ハ預證券ノ讓受人ニ對スル時効如何等幾多ノ疑問アルヲ以テ宜シク之ヲ明定スルヲ要ス即チ須ラク手形法ニ倣ヒ其ノ引受

(註四) 獨逸商
法第四百九條
ノ混合保管ニ係
ルモノハ明示レ
ルニテ足ルベシ
シテ以テ之レハ
シテ以テ之レハ

二三
人及び裏書人ニ對スル請求及び裏書人ガ其ノ前者又ハ預證券ノ讓受人ニ
對スル償還請求ノ方法ヲ明ニ規定シ其ノ疑問ヲ排除スルト同時ニ此等裏
書人ノ責任ヲ永ク繼續セシムルハ商取引ニ害アルヲ以テ速ニ之ヲ解除ス
ルノ方法ヲ設クベキナリ
我カ商法ハ代替物ノ混合保管ヲ許サズト雖モ同種類ニシテ同品質タル鐵
類綿絲等ノ如キ一定セル製造品ニ付キテハ混合保管ヲ利便トスル場合少
カラズ然ルニ現行法ニ依レバ此等商品モ尙ホ特定物トシテ一倉庫證券毎
ニ之ヲ區別シテ保管セザルヲ得ザルガタメ自ラ多大ノ場所ト手數トヲ要
シ從ツテ其保管料ヲシテ高貴ナラシムルハ不利アリ故ニ此等代替物ニ對
シテハ適當ナル條件ト制限トノ下ニ混合保管ヲ爲スヲ得ルノ規定ヲ設ク
ルハ最モ必要ナリト信ズ若シ夫レ混合保管ヲ許スベキ物品ノ種類及び保
管ノ方法等ノ如キ取締ニ關スル事項ニ至リテハ命令ヲ以テ之ヲ規定スル
ヲ至便ナリトス

(註五) 現行
法第四百九條
ノ混合保管ニ係
ルモノハ明示レ
ルニテ足ルベシ
シテ以テ之レハ
シテ以テ之レハ

現行法ハ第三百七十七條但書ニ於テ寄託物ノ一部出庫ヲ認ムルモ第三百
八十條ノ場合ニ於テハ之ヲ許サハルモノハ如シ然レトモ其ノ出庫物ニ對
スル價額ヲ倉庫營業者ニ供託セシムルトキハ其ノ一部出庫ヲ許スモ敢テ
擔保不可分ノ原則ニ背戻スルモノニアラズ故ニ其ノ供託金額ニ關スル規
定ヲ設ケ以テ一部ノ出庫ヲ許シ商品ノ流動ヲ助ケ且ツ質債務ノ辨濟ヲ容
易ナラシムルハ必要アリ
法律上ニ於テハ預證券ノ所持人ガ質入證券ノ所持人其ノ人ヲ知得スルノ
方法ナシト雖モ事實上ニ於テハ之ヲ知得シ又ハ知得シ得ヘキ場合甚ダ多
シトス此ノ場合ニ於テモ預證券ノ所持人ガ辨濟期日前ニ債權ノ全額又ハ
其ノ一部ノ辨濟ヲ爲サント欲スルトキハ倉庫營業者ニ其ノ金額ヲ供託セ
ザルベカラザルカ換言スレバ質入證券ニ關スル債務ハ商法ニ規定セル方
法ニ依ルニアラザレバ之ヲ辨濟スルコトヲ得ザルカノ疑問アルノミナラ
ズ民法ニ於テハ辨濟ノ割合ヲ以テ質物ノ返還ヲ請求スルノ權利ヲ認メザ

(評六) 初メヨ
リ禁裏書ノ
證券發行ヲ
シテ今日多
クアルコト
ナル者アル
使用スル禁
預證券ナル
ハ法上ハ倉
券ト云フヘ
此ト非ラフ
用ニ屬ス

ルヲ以テ宜シク商法中質入證券所持人ノ知レタル場合ニ於テハ倉庫營業者ニ對シ辨濟ヲ爲シ得ルト等シク質入證券ノ所持人ニ對シ直接辨濟ヲ爲シ得ベキコトヲ規定シ以テ商業資金ノ活動ニ利スルノ必要アリ

又既ニ質入證券ノ所持人ニ對シ直接辨濟ヲ爲シ且ツ一部ノ辨濟及ビ一部ノ返還ヲ是認セバ其ノ手續方法ヲ規定シ以テ二證券ノ流通上支障ナカラシメザルベカラズ

商法第三百六十四條第一項但書ニ依ル禁裏書證券ニ付キテハ質入證券ハ必要ナルベシ果シテ然ラバ此ノ場合ニ於テハ質入證券ハ之ヲ交付スルコトヲ得ザル旨ヲ規定シ其ノ費用ト手數トヲ省クハ必要アリ

以上ノ理由ニ依リ現行法ヲ左ノ如ク修正センコトヲ希望ス

第三百五十七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三百五十七條ノ二 倉庫營業者ハ寄託者ノ承諾アルトキニ限り同種類ニシテ同品質ノ他ノ物ト混合保管ヲ爲スコトヲ得但寄託物ノ原状

ヲ變更スルコトヲ得ズ

混合保管物ニ對スル寄託者ノ權利ハ寄託ノ割合ニ應ジ其物ノ上ニ存ス

倉庫營業者ハ關係人ノ承諾ヲ要セズシテ各寄託者ニ其歸屬スベキ部分ヲ返還スルコトヲ得

第三百五十九條第一號中記號ノ下尙ホ混合保管物ナルトキハ其旨ヲ加フ

第三百六十四條第一項ノ次ニ第二項トシテ左ノ一項ヲ設ケ第二項ヲ第三項トス

前項但書ノ場合ニ於テハ質入證券ヲ交付スルコトヲ得ズ

第三百六十七條第二項ノ次ニ第三項及ビ第四項トシテ左ノ二項ヲ加フ

預證券ノ所持人ハ其證券ニ記載シタル債權及ビ其利息ノ辨濟ヲ引受ケタルモノト看做ス

質入證券所持人ノ債權ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ辨濟スベキ

モノトス但質入證券及ビ預證券ニ支拂ノ場所トシテ別段ノ場所ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラズ

第三百六十九條ニ第二項トシテ左ノ一項ヲ加フ

寄託物ノ競賣ハ倉庫營業者之ヲ爲ス

第三百七十條第二項ニ左ノ但書ヲ加ヘ第三項トシテ左ノ一項ヲ加フ

但質入證券ニ利息ノ記載ナキモノ、期限後ノ利息ハ法定利率ニ依ル

寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ預證券ノ所持人ガ受クベキ金額ハ倉

庫營業者之ヲ受取ルコトヲ得此場合ニ於テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第三百七十一條中「競賣代金」ヲ「前條ノ金額」ニ改メ第二項トシテ左ノ一項ヲ

加フ

寄託物滅失ノ場合ニ於テ預證券ノ所持人ガ受クベキ金額ナキトキ又

ハ倉庫營業者ガ直チニ其金額ノ支拂ヲ受クルコト能ハザルトキハ倉

庫營業者ハ其旨ヲ質入證券及ビ帳簿ニ記載シテ其證券ヲ返還スルコ

トヲ要ス

第三百七十二條ヲ左ノ如ク改ム

第三百七十二條 質入證券ノ所持人ハ先ヅ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尙

ホ不足アルトキハ其不足額ヲ債務者其他質入證券ノ裏書人及ビ預證

券ノ所持人並ニ其裏書人ニ對シテ請求スルコトヲ得

質入券證ノ所持人ガ前項ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ質入證券ノ

第二以下ノ裏書人ニ對シテハ質入證券ニ前條ノ記載ヲ受ケタル日ノ

翌日マデニ其他ノ者ニ對シテハ遲滞ナク其請求ノ通知ヲ發スルコト

ヲ要ス。

第四百七十八條第二項、第四百八十七條第二項、第四百八十八條、四百

九十二條及ビ第四百九十五條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十四條ヲ左ノ如ク改ム

第三百七十四條 質入證券所持人ノ債務者其他預證券ノ所持人及ビ其

裏書人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年質入證券ノ第二以下ノ裏書人ニ對スル請求權ハ質入證券ニ第三百七十一條ノ記載ヲ受ケタル日タリ六箇月又質入證券裏書人ノ其前者及ビ預證券ノ所持人並ニ其裏書人ニ對スル請求權及ビ債務者其他預證券裏書人ノ被裏書人ニ對スル請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ六箇月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百八十條第二項ヲ改メテ左ノ三項トス

預證券ノ所持人ハ寄託物ノ各部ガ同一ノ價格ヲ有スル場合ニ限り質入證券ニ記載シタル債權及ビ其利息ノ一部ヲ倉庫營業者ニ供託シ其割合ニ應ジテ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫營業者ヲシテ供託シタル金額及ビ返還ヲ受ケタル寄託物ノ數量ヲ預證券ニ記載セシムルコトヲ要ス
此二項ノ規定ニ從ヒテ供託シタル金額ハ質入證券ト引換ニ之ヲ其所

持人ニ支拂フコトヲ要ス

第二項ノ規定ハ預證券ノ所持人が質入證券ノ所持人ニ對シテ一部ノ支拂ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用シ但支拂ヒタル金額ハ質入證券ノ所持人ヲシテ之ヲ預證券ニ記載セシムルコトヲ要ス
商法中附則トシテ左ノ三項ヲ設ク

附 則

競賣法第四條乃至第十四條及ビ第十七條乃至第二十一條ノ規定ハ倉庫營業者ガ第三百六十九條第二項ノ規定ニ依リテ爲ス競賣ニ之ヲ準用ス
倉庫營業者ノ處分ニ付キ異議ノ申立ヲ爲スベキ裁判所ハ其營業所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所トス
競賣法第十九條第二項ノ賣得金ハ倉庫營業者自ラ之ヲ保管スルコトヲ得

1、東京地方裁判所判決

判決

三〇

原告 株式會社百三十八銀行
 右法律上代理人取締役
 坪井源三郎
 右會社支配人
 大塚義一郎
 右訴訟代理人辯護士
 岡村輝彦
 高橋織之助
 平出修
 被告 寺田政忠

外六名

右被告訴訟代理人辯護士
 川島龜夫
 外四名

右當事者間ノ明治三十七年(ワ)第二四四號損害賠償請求事件ニ付當裁判
 所ハ判決スルコト左ノ如シ

主 文

原告ノ請求ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

事 實

(前略) 其請求ノ原因トシテ陳述シタル事實ハ

第一、(略ス)

第二、被告寺田政忠廣部清兵衛桑原龜吉ハ大澤友助ナル者ヨリ羅紗類ノ

(注意)係争證券
 ニハ價格ノ記入
 アリ

附 録

三一

寄託ヲ受ケタリトシテ明治三十四年五月七日證券番號第二五ノ五一八種類舶來黑羅紗數量一、價格千八百圓ト記載シアル預證券及質入證券ヲ全年十二月五日、證券番號第四一二種類舶來チヨツキ地、數量拾卷入、三百五十七ヤール、價格貳千四百五十圓、證券番號四一三種類舶來黑羅紗、數量十卷入三百ヤール、價格千五百圓、證券番號四一四種類舶來美羅紗、數量十卷入、三百ヤール、價格千六百五十圓ト記載シアル預證券及ヒ質入證券ヲ發行シ被告(某々)ハ明治三十六年一月二十四日證券番號第一五一〇種類スコチ絨、數量五百六十碼、價格千七百貳拾圓ト記載シアル預證券及質入證券ヲ、全年二月十七日證券番號第一六二八種類霜降綾絨、數量五十碼、五卷價格八百拾貳圓五拾錢ト記載シアル預證券及ヒ質入證券ヲ、全年三月二十日證券番號第一七五〇種類茶羅紗、數量三百碼、價格九百圓ト記載シアル預證券及ヒ質入證券ヲ、全年五月七日證券番號第二〇二八種類綿薄羅紗、數量五十碼、五卷價格千六拾貳圓五拾錢

證券番號第二〇一三乃至第二〇三六、何レモ種類綿薄羅紗、數量五十碼、五卷價格千百貳拾五圓ト記載シアル預證券及ヒ質入證券ヲ、全年五月十一日證券番號第二〇六〇乃至第二〇六二、何レモ種類撚糸最上絨、數量五十五碼、五卷價格千貳百五拾圓ト記載シアル預證券及質入證券ヲ、全年五月十二日證券番號第二〇六七何レモ種類撚糸羅紗、數量五十碼、五卷價格千五拾圓ト記載シアル預證券及ヒ質入證券ヲ、全年六月二十三日證券番號第二二二五種類ホウムスパン絨、數量五十碼、五卷價格千百貳拾五圓ト記載シアル預證券及ヒ質入證券ヲ發行シタリ

第三(略ス)

第四(略ス)

第五、前記ノ如ク原告ハ大澤友助トハ嘗テ取引上ノ關係ナカリシニ拘ハラズ、全人ニ對シ多額ノ約束手形金ヲ割引シ又ハ當座貸越金ヲ爲シタル所以ノモノハ實ニ被告ノ發行ニ係ル證券カ擔保トシテ提供セラレ

發行スヘキ場合ニアラザルコトヲ知り得ヘキモノタリ而モ被告ハ漫然此等ノ事項ヲ看過シテ恰モ真正ノ受託物アリタルガ如ク記載シタル證券ヲ發行シ依テ以テ原告ヲ錯誤ニ陥ラシメ多大ノ損害ヲ被ムルニ至ラシメタルモノナリ換言スレハ證券發行ニ付キ被告ニ於テ過失アリタルガ爲メ原告ハ財産上ノ損害ヲ受ケタルナリ(以下略ス)

被告訴訟代理人ハ主文記載ノ如キ判決ヲ求ムト申立テ(以下中略)本案ノ答辯トシテ

第一、(略ス)

第二、(略ス)

第三、(略ス)

第四、(略ス)

第五、係争證券發行ニ付キ被告ニ過失アリタリトノ事實ハ之ヲ認めズ又原告ガ其主張ノ如キ損害ヲ受ケタリトノ事實モ亦之ヲ認めス

(注意)此抗辯ハ
一般に質權者
銀行ノ特ニ注
ル要スル事項
ナリ
尤モ本件ハ證券
上ノ權利ヲ主張
シタルモノニ非
ラサルヘシ

(中略) 又原告ガ證券ニ關シ主張スル處ニ依レハ係争證券ニ付質權ヲ設定シタリト云フガ如ク又裏書讓渡ヲ受ケタリトモ云フガ如ク去レト質權設定ト裏書讓渡トハ法律上ノ關係全ク別箇ニ屬シ從ツテ一定ノ事實關係ヲ以テ訴ノ原因ト爲サルモノト云フベシ故ニ本訴ハ此點ニ於テモ既ニ不適法タルヲ免カレズ

前記ノ如ク原告ガ證券ノ正當所持人トシテ證券上ノ權利ヲ主張スルニ在ラバ本訴請求ハ左ノ點ニ於テ不當ナリトス

一、係争證券ハ何レモ商法上ノ要件ヲ具備セサルモノナルカ故ニ法律上無効ノ證券ナリ隨テ原告ハ之ニ依リテ何等ノ權利ヲ取得スベキモノニ非ス

二、係争證券ハ中外倉庫株式會社ガ大澤友助ニ騙取セラレタルモノニシテ物品ノ寄託ナカリシモノナリ左レハ寄託ヲ前提トスル倉庫證券ハ何レモ無効ナルカ故ニ商法第三百六十二條ノ如キ寄託ヲ前提トス

(注意)

ル法條ニ依リ損害ノ賠償ヲ求メントスル本訴請求ハ不當ナリ

三、原告ハ證券發行ニ付キ被告ニ過失アリト主張セリ然ラバ假リニ過失アリトナスモ其所謂過失ハ原告ノ所持人タル以前ニ屬ス隨テ原告ノ所持人タル權利ヲ侵害スヘキ謂レナシ而モ原告ノ所持人タル後ニ於テ何等ノ過失ナキガ故ニ證券上權利ノ侵害ヲ原因トスル本訴請求ハ不當ナリ

四、原告ハ證券ヲ擔保ト爲シタリト主張スレトモ適法ナル質權設定ノ手續ヲ爲サズ又商事上ノ慣例タル擔保差入證ヲモ有セサルカ故ニ其所謂割引及ビ貸越ハ無効ノ擔保ニ依ルモノナリ即適法ナル擔保權利者ニ非サルカ故ニ之ニ基ク本訴請求ハ不當ナリ

五、原告ノ主張ニ依レハ原告ハ係争證券ノ裏書讓渡ヲ受ケ之ヲ引當物トシテ割引及ビ貸越ヲ爲シ大澤友助ニ於テ債務ヲ辨濟セサルトキハ證券ヲ處分シ其賣得金ヲ以テ辨濟ニ充當スト云フニ在リ左スレハ其

裏書ハ條件附ナリト謂フヘシ然レトモ條件附裏書ハ商法ノ認メザル處ナルカ故ニ原告ハ證券上ノ權利ヲ取得セズ

六、原告ハ係争證券ノ白地裏書ヲ受ケタリト主張セリ白地裏書ニ依ル所持人トシテ權利ヲ行使スルニハ必スヤ自己ヲ被裏書人トシテ證券ニ記載セサルベカラズ而モ係争證券ニハ其記載ナキガ故ニ原告ハ證券上ノ權利ヲ取得セズ

七、原告ノ請求ハ擔保權利ヲ主張スルニ外ナラズ然ラハ主タル債權ノ執行ヲ爲シ其不足ヲ生シタル後ニ非サレバ現實ノ損害ヲ定メ得ベカラズ而モ原告ハ大澤友助ニ對シ辨濟ヲ強要シタル事實ナキニ拘ハラズ自己ノ貸付ケタル金額以上ノ賠償ヲ求ムルノミナラズ擔保處分前ニ於テ所持人タル權利ヲ行使スルハ不當ナリ

八、假ニ證券處分ノ意義カ之ヲ賣却シ其賣得金ヲ以テ辨濟ニ充當スル趣旨ナリトセバ其處分行爲ハ大澤友助ノ代理行爲ナリ然ラハ原告ハ

證券上ノ權利ヲ取得セサルコト謂フヲ俟タス

九、假ニ原告ガ正常ノ證券所持人ナリト爲スモ先ツ證券ニ基キテ寄託物ノ引渡ヲ求メタル後其物件ナキトキニ始メテ現實ノ損害ヲ要求スベキモノナリ原告ガ爲シタル寄託物ノ點檢ハ單ニ二個ニ過キス而カモ其餘ノ寄託物モ亦其内容ナカルベシトノ豫想ヲ以テ直ニ本訴ノ請求ヲ爲スハ不當ナリ

十、若シ原告ノ主張カ證券ニ誤マラレタリト謂フニ在リテ擔保權ノ主張ニ非ストセバ證券ノ讓受ハ無償ノ行爲ナリト謂フベシ何トナレバ原告ハ證券ノ取得ニ付キ毫モ對價ヲ拂ヒタル事實ナク其貸金ヲ爲シタルハ別箇ノ消費貸借契約カ成立シタルモノニシテ證券ノ讓受ハ全然法律上獨立ノ行爲ナレハナリ果シテ然ラハ無償ニテ讓受ケタル證券上ノ權利ハ之ヲ行使セサルモ何等ノ損害ナシ隨テ證券上ノ權利ニ基ク本訴請求ハ不當ナリ

(注意)倉庫證券ノ裏書ハ其裏面ニ之ヲ爲サハルベカラズ然ルニ原告ノ主張ニ依レハ白紙委任狀ヲ以テシタリト謂ヘリ然レトモ斯ノ如キハ法律ノ認めサル處ナルカ故ニ原告ハ之ニ依リテ證券上ノ權利ヲ取得セズ

十一、倉庫證券ノ裏書ハ其裏面ニ之ヲ爲サハルベカラズ然ルニ原告ノ主張ニ依レハ白紙委任狀ヲ以テシタリト謂ヘリ然レトモ斯ノ如キハ法律ノ認めサル處ナルカ故ニ原告ハ之ニ依リテ證券上ノ權利ヲ取得セズ

十二、假ニ被告ニ過失アリト爲スモ原告ガ自己ノ過失ニ依リ無効ノ證券ヲ取得シ又ハ適法ナル擔保手續ヲ爲サハリシニ於テハ法律上第三取得者タル權利ナキガ故ニ其被リタル損害ナルモノハ直接被告ノ行爲ニ起因セズ反テ原告ガ自己ノ過失ニ因リ招キタル損害ナリ

假リニ本訴請求ノ原因ガ原告ガ係争證券ニ誤マラレテ損害ヲ受ケタリト云フニ在リト爲スモ尙ホ原告ノ請求ハ左ノ點ニ於テ不當ナリ

(一) 原告ノ主張ニ依レバ被告ガ證券ヲ發行スルニ付キ過失アリタルガ爲メ之レニ誤マラレテ損害ヲ受ケタリト云フニ在リ然レトモ其所謂過失ト損害トノ間ニハ毫モ直接因果ノ關係ナキガ故ニ不法行爲ヲ原

因トシテ被告ニ對シ損害ノ賠償ヲ求ムルハ不當ナリ
(二) 倉庫營業者カ商品ノ寄託ヲ受クルニ當リ其内容ヲ調査スベキモノト爲ストキハ商品ヲ汚損スル虞アルノミナラス又甚タシキ手數ヲ要スルモノナレバ取引ノ安全做活ヲ望ムガ爲メ見本ニヨリテ證券ヲ發行スルヲ常トスルノミナラズ東京市ニ於ケル倉庫營業者ノ慣習ナリトス本件ノ場合ニ於テモ中外倉庫株式會社ハ大澤友助ヨリ商品ノ寄託ヲ受ケタル際其提出シタル見本ニヨリ係争證券ハ發行シタルモノニシテ隨テ證券ニモ箱入ニ付キ見本ニ依リ評價ストノ記載ヲ爲シ置キタリ殊ニ本件ノ寄託物件ノ如キハ一見其見本ノ如キ内容アルヲ疑ハシムル程度ニアリ然ラハ被告ハ内容ニ付キ何等ノ責任ヲ有セザルカ故ニ内容ナキニ拘ハラズ證券ヲ發行シタリトノ理由ニ基ツク本訴請求ハ不當ナリ

(三)乃至(十一)(略ス)

理由

第一點乃至第六點ニ至ル裁判理由ハ皆ナ被告ノ抗辯ヲ排斥シタルモノニシテ此ニ之ヲ略ス)

第七、本件ハ過失ニ因ル不法行爲ニ基ク賠償ノ請求ナリ左スレハ被告ニ過失アリヤ否ヤハ本訴請求ノ當否ヲ判定スルニ付キ重要ノ争點ナリトス
按スルニ原告ガ本件ニ於テ被告ノ過失ナリトシテ主張スル所ハ寄託物ニ税關ノ檢印ナカリシ等前記事實摘示ノ部ニ記載シタル一乃至七ノ事項ナリトス而シテ此點ニ關スル證人鹽崎新ノ陳述ニ依レハ本件寄託物件ノ外装ニ税關ノ記號ナカリシコト其箱ガ輸入品ヲ入ルベキ長ナカリシコト藁繩ヲ以テ箱ノ外部ヲ卷キタルモノアリシコト寄託物内容ガ證券記載ノ物件ニ非ザリシコトハ之ヲ認メ得ベシト雖モ此事實ノミニ依リテ證券發行ニ付キ被告ニ過失アリタル結果原告ガ損

害ヲ受ケタリト謂フヲ得サルモノアリ

四四

被告ノ主張ニ依レバ倉庫營業者ガ商品ノ寄託ヲ受ケテ倉庫證券ヲ發行スル場合ニ於テ若シ其内容ヲ調査スルトキハ物品ヲ汚損スルノミナラズ少ナカラザル費用勞力時間ヲ要シ取引ノ敏活ヲ妨クルガ故ニ寄託者ガ提出シタル見本ニ基ツキテ證券ヲ發行スルコトヲ普通トス本件ノ場合ニ於テモ中外倉庫株式會社ハ大澤友助ヨリ提出シタル見本ニ依リ係争證券ヲ發行シタルモノニシテ證券ニハ特ニ箱入ニ付キ見本ニ依リ評價スト記載シ逐一ニ寄託物件ノ内容ヲ検査セザリシコトヲ明確ニセリ斯ル場合ニハ倉庫營業者ハ内容ニ付キ責任ヲ有セサルモノナリト謂ヘリ其所謂箱入ニ付キ見本ニ依リ評價スト謂フガ如キ文言ハ證券上ノ記載トシテ其效力ヲ認ムベキモノナリヤ其效力アリトセバ右ノ文言ハ被告ノ證券發行ニ關シ有スル責任ト如何ナル關係ヲ有ナルモノナリヤ當裁判所ハ本件ニ於テ被告ノ過失ノ責任ヲ定

ムルニ付キ右ノ點ヲ判定スルヲ重要ナリト認ム倉庫證券發行ノ場合ニ於テ其證券ニ所謂箱入見本ニ依リ評價スト謂フガ如キ若クハ内容不明ト云フガ如キ文言ヲ記載スルハ學說上免責文句ト稱セラル、モノニシテ其記載ガ證券上ノ文句トシテ法律上其效力ヲ有スルモノナルコトハ一般認メラル、所ナリトス之ヲ我商法ノ規定ニ徴スルニ第三百五十九條ニハ預證券及質入證券ニ記載スベキ事項ヲ定メ同第三百六十二條ニハ預證券及質入證券ヲ作リタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ依ルト規定シアルノ外何等直接規定ノ見ルベキモノナシ然レトモ手形ニ關シテハ特ニ第四百三十九條ニ本編ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ効力ヲ生セストノ明規アリ而モ倉庫證券ニ關シテハ斯ノ如キ特別ノ法文ナキガ故ニ我現行法ノ解釋トシテハ所謂免責文句ノ記載ヲ禁セサルモノト認ムベク隨テ其記載ハ法律上效力アル

附錄

四五

モノト解スルヲ相當トス尙之ヲ實際ノ取引ノ上ヨリ觀察スルモ倉庫營業者ハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルコトヲ業トシ寄託者ノ請求アルトキハ寄託物ノ預證券及ヒ質入證券ヲ交付スルコトヲ要スルモノナレバ幾多ノ物品ノ寄託ヲ受クルニ當リ寄託物ノ内容如何ヲ調査シタル後ニ非サレハ證券ヲ發行スルコトヲ得スト爲ストキハ取引ノ敏活ヲ望ムコトヲ得サルヤ論ヲ俟タス特ニ寄託物ノ種類品質ニ依リ之ヲ調査スルトキハ物品ヲ汚損スルノ虞アルガ故ニ當ニ營業者ニ於テ之ヲ欲セサルノミナラス寄託者自身ト雖モ之ヲ欲セサルコト固ヨリナリト謂フヘシ左レハ倉庫營業ニ於テ物品ノ汚損ヲ避ケテ又ハ時間勞力費用ヲ節シ以テ取引ノ安全敏活ヲ望ムカ爲メニハ寄託者ハ見本ヲ添ヘテ物品ノ寄託ヲ爲シ得ヘク營業者ハ其見本ニ依リテ證券上ノ記載ヲ爲スコトヲ得セシムルニ非サレハ倉庫營業ノ取引ヲ運用セシムルコトハ甚タ難シ而モ倉庫證券ハ流通證券トシテ轉帳セラ

ルベキモノニシテ寄託ニ關スル事項ハ證券ノ定ムル所ニ依ルベキモノナルガ故ニ右ノ場合ノ如キニ於テハ第三者ヲシテ證券發行ノ際内容ヲ調査シタルヤ否ヤノ點ヲ知ラシムル爲メ見本ニ依リ寄託ヲ受ケタル旨ヲ證券上ニ記載シ得ベキモノト爲スハ正當ナリ然ラハ實際上取引ノ上ヨリ觀察スルモ所謂免責文句ハ證券上ノ記載トシテ其效力ヲ有セシムベキモノト謂ハザルヲ得ズ免責文句ニシテ法律上有効ナリトセバ其記載ハ倉庫營業者ノ責任ニ付キ如何ナル關係ヲ有スルヤ蓋シ倉庫證券ハ流通證券トシテ商事取引上第三者ニ轉帳スベキ性質ヲ有シ而シテ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ證券ノ定ムル所ニ依ルモノナルガ故ニ倉庫營業者カ見本ニ依リテ商品ノ寄託ヲ受ケ且證券ニモ其旨ヲ記載シタルトキハ證券ヲ取得スヘキ第三者ハ其記載ニ依リ倉庫營業者ガ物品ノ寄託ヲ受ケタル際單ニ見本ニ依リテ證券ヲ發行シ毫モ其内容ヲ検査セザリシコトヲ知リ

得ヘキ状態ニ在リト謂フベシ隨テ寄託物ノ内容ガ事實上證券記載ノ物件ニハ非スシテ全ク別異ノモノナリシト爲スモ倉庫營業ノ責任ハ現ニ寄託ヲ受ケタル物件ノ範圍内ニ止マリ證券記載ノ如キ内容ニマテ及フモノニ非スト爲サルヲ得ス是實ニ免責文句ノ記載ニ基ク特種ノ效力ナリト認ム果シテ然ラバ倉庫營業者ガ見本ニ依リテ物品ノ寄託ヲ受ケ其旨ヲ記載シテ證券ヲ發行シタル場合ニ於テ第三者ガ證券記載ノ物件アリト信シ之ヲ擔保トシテ金員ノ取引ヲ爲シタルニ事實上證券記載ノ物件ナカリシ結果損害ヲ受ケタル事實アリト爲スモ其損害ノ因テ生シタル源タルヤ第三者カ免責文句ノ記載ニ依リ寄託物ノ内容ガ果シテ證券記載ノ如クナリヤ否ヤヲ確保シ得ベカラザルコトヲ知リ得ヘキ状態ニ在ルニ拘ハラヌ漫然之ヲ信用シタルニ依ルモノニシテ寧ロ第三者ニ過失アリト謂フベシ何トナレバ第三者ニシテ少シク證券上ノ記載ニ注意ヲ拂フトキハ直チニ證券ノミヲ信賴シ

テ取引ヲ爲スコトノ危険ナルヲ認識シ得ベク隨テ損害ヲ未發ニ防止スルヲ得ベケレバナリ反之證券發行者ハ特ニ免責文句ヲ記載シ以テ第三者ヲシテ容易ニ錯誤ニ陥ラシメザルヘキ適當ノ手段方法ヲ講シタルモノニシテ何等發行ニ付キ過失アリト云フヲ得ス隨テ第三者ガ被リタル損害ノ原因ガ發行者ニ存セサルベキハ當然ナリトス然レトモ右ノ説明ハ寄託物ノ内容ガ何人ト雖モ一見證券記載ノ如キモノニ非サルコトヲ知リ得ベキ場合例ヘバ方一寸ノ箱ヲ寄託シ其内容ガ輸入品羅紗五十碼一卷ナリトシテ其見本ヲ提出シ倉庫營業者ガ之ニ基キテ證券ヲ發行シタル如キ場合ニハ之ヲ適用スヘキモノニ非ス是右ノ如キ場合ハ營業者ガ全然商品ノ寄託ヲ受ケスシテ證券ヲ發行シタリト謂フヲ得ヘキノミナラス斯ル場合ニハ營業者ハ其責任トシテ商品ノ寄託ヲ拒絕シ得ヘク又證券ヲモ發行スベカラサルモノト謂フヲ得ヘキガ故ニ第三者ガ該證券ニ誤マラレタル結果其被リタル

倉庫カ證券發行
ニ關シテ用ユヘ
キ注意ノ程度

本件判決ノ要點
ハ此免責文句ヲ
以テ内容ニ關ス
ル責任全部ヲ免
ズルニ足ルモア
リトシタルニモ

損害ヲ發行者カ賠償スヘキハ營業者タル責任上當然ナレバナリ
然ラバ前示説明ノ如キハ苟シクモ證券ニ免責文句ノ記載ヲ爲ストキ
ハ如何ナル場合ニモ絶對ニ過失ノ責任ヲ負擔セスト謂フニ非シテ
寄託物件カ一見證券記載ノ如キ内容アルコトヲ疑ハシムルモノアル
場合ニ限ルモノトナサルベカラズ
本件ニ於テ甲第一號證即本件係爭證券ヲ查スルニ何レモ輸入箱入ニ
付キ見本ニ依リ評價ストノ記載アリ即チ免責文句ノ記載アルコト明
亮ナリトス而シテ前記鹽崎新ノ證言ニ依リテ認メ得ヘキガ如キ點ノ
ミニ依リテハ本件寄託物件ガ一見證券記載ノ如キ内容ヲ有セサルコ
トヲ認識シ得ヘシトハ認メ難ク反テ營業者トシテ幾多ノ商品ノ寄託
ヲ受ケ其取引モ甚タ複雑ナル場合ニハ寧ロ其見本ノ如キ内容アルコ
トヲ疑ハシムルモノアリト謂フベシ然ラバ原告ガ該證券ヲ擔保トシ
テ大澤友助ニ金員ヲ貸與シタル結果原告主張ノ如キ損害ヲ受ケタル

事實アリト爲スモ前記説明ノ如ク寧ロ原告ガ自ラ招キタル損害ニシ
テ被告ノ責ニ歸スヘカラサルヤ論ヲ俟タス
上來説明ノ如ク被告ノ過失ニシテ之ヲ認ムルコト能ハスンバ過失ニ
因ル不法行爲ヲ原因トスル本訴請求ハ既ニ此點ニ於テ失當ニシテ爾
餘ノ爭點ハ之ヲ判斷スルノ必要ナシ依テ民事訴訟法第七十二條第一
項ヲ適用シ主文ノ如ク判決シタリ

東京地方裁判所第三民事部

裁判長判事 横 田 五 郎

判事 飯 島 喬 平

判事 池 田 寅 二 郎

(以下略ス)

口、控訴代理人提出ノ準備書面

御院明治三十九年(不)第 號事件ニ付左ノ如ク申立ヲ補充ス

第一 (イ) 證券第二五ノ五一八號ニハ第一審裁判所ノ所謂免責文句ノ記載ナシ

(ロ) 證券第四一二號第四一三號第四一四號ニハ摘要欄ニ箱入ニ付見本ニ依リ評價ストアリ

(ハ) 證券第一五一〇號第一六二八號第二〇二八號第二〇三一號第二〇三二號第二〇三三號第二〇三四號第二〇三五號第二〇三六號第二〇三六號第二〇六〇號第二〇六一號第二〇六二號第二〇六六號第二〇六七號ニハ摘要欄ニ輸入箱入ニ付キ見本ニ依リ評價ストアリ

(ニ) 證券第一七五〇號ニハ摘要欄ニ第一一六八號書換但評價ハ見本ニ依ルトアリ

第二 第一審裁判所説明ノ如キ免責文句ナルモノハ倉庫證券ノ性質上其效力ナキモノトス殊ニ證券ノ要件タル寄託品ノ種類數量ヲ明記シタル場合ニ其記載ヲ無効ニ歸セシムルガ如キ文言ハ假令ハ證券上ニ記載スルモ法律上何等ノ効ナキモノトス

第三 假リニ第一(ロ)(ハ)(ニ)ニ記載スル文言ガ法律上其効力アリトスルモ右文言ノ意義ハ本件ノ如キ寄託物ガ全然記載記載ノモノト異ナリタル無價値ナリシ場合ニ於テモ發行者ノ責任ヲ免除スヘキモノニアラス
蓋シ免責文句ト雖トモ免責ノ程度ハ専ラ其文言ノ意義ニヨリテ決セザルヘカラサルハ論ヲ俟タス右(ロ)(ハ)(ニ)ノ文言ハ箱入ニ付キ見本ニ依リ評價ス或ハ輸入箱入ニ付キ見本ニ依リ評價ス又ハ但シ評價ハ見本ニ依ルト記載シアルハミ故ニ此文言ト證券ノ他ノ記載ト對照スルトキハ寄託品ノ種類數量ハ證券記載ノ物ナルコトヲ確認シ唯其價格

ハ見本ニ依リ評價シタルモノナルヲ以テ實物ノ價格ト證券記載ノ評價額ト相違スルコトアルカモ知レズトハ意義ナルコト明白ナリ從ツテ右(ロ)(ハ)(ニ)ノ文言ハ決シテ第一審裁判所説明ノ如ク内容不明ト記載シタル場合ト同一ニ見ルベキモノニアラズ故ニ右文言ハ單ニ寄託物ノ價格ト證券記載ノ評價額トノ相違ニ對シテハ免責ノ效アリト雖トモ本件ノ如ク證券記載ノ物ガ全然無價值ナル別種ノ物ナリシ場合ニ迄モ責任ヲ免除スベキ意義ニアラズ

或ハ被控訴人ハ右(ロ)(ハ)ノ證券ニハ箱入ニ付キト記載シアルヲ以テ此ノ記載ハ内容不明ナル文言ト同一意義ナリト主張スルヤモ知ルベカラズ然レドモ箱入ノ寄託品殊ニ輸入羅紗ノ如キハ内容ヲ検査セスト雖トモ相當ノ注意ヲ以テ荷造ノ模様外裝寄託者ノ信用寄託品ノ量目形狀税關ノ記號箱ノ材料等ニ付キ調査スルトキハ假令箱入ト雖トモ寄託品ノ何タルヤヲ知ルコトヲ得ベキヲ以テ單ニ箱入ト記載シアル

トキハ證券取得者ハ發行者ニ於テ右手續ニ依リテ寄託品ヲ確認シタル上證券ニ記載シタルモノト見ルベキハ普通一般ニシテ内容不明ト記載シタル場合ト全然其取扱ヲ異ニスベキモノナリ

第四

證券發行者ガ假令免責文句ヲ記載スルモ其文句ノ記載ガ不正ニシテ發行者ニ過失アリ且ツ第三者ガ其文句アルガ爲メニ却テ通常ノ證券ニ對スルヨリモ之レヲ信用シテ取引シタル場合ニ於テハ發行者ハ其責任ヲ免カル、コトヲ得ス本件ノ證券中第一ノ(ロ)ノ證券ニハ銘柄品質ノ所ニ寄託品ノ舶來ナルコトヲ示シ摘要欄ニ箱入ナルコトヲ示シ以テ寄託品ノ輸入箱入ナルコトヲ表示シ又第一ノ(ハ)ノ證券ニハ摘要欄ニ於テ輸入箱入ナルコトヲ明示シ以テ寄託品ガ輸入品ナルコトヲ表示セリ

本件ノ寄託品ガ輸入品ニアラザルコト及ビ一見シテ輸入品ニアラザルコトヲ知り得ベキコトハ鹽崎新ノ證言及其他ノ證據ニ依リ明カナ

リ故ニ右ノ文句ハ不正ノ記載ニシテ且ツ被控訴人等ノ過失ニ出テタルモノナルコト明白ナリ
 又輸入品ハ何レモ税關ニ於テ内容ヲ検査シ輸入品ノ種類數量等ヲ明確ニシタル上ニアラサレハ輸入ヲ許サハルモノナルヲ以テ羅紗ハ輸入箱入ニ羅紗ニアラサル無價値ナル古新聞ズツクハ砂糖袋等ノアルベキ理由ナシ故ニ證券上ニ輸入箱入ナル文字ヲ使用スルトキハ證券取得者ハ其輸入品ナル記載ニ依リ他ノ此記載ナキ證券ヨリハ寄託品ハ正確ナルコトヲ信ジ寄託品ヲ點檢セズシテ取引スルハ普通一般ナリ

右ノ次第ニテ本件ノ證券ニ記載アル免責文句ハ不正ノ記載ニシテ被控訴人ノ重過失ニ出テタルモノナリ而シテ控訴人ハ其免責文句アルガ爲メニ却テ錯誤ニ陥キリ損害ヲ蒙リタルモノナリ故ニ被控訴人等ハ右ノ文句ノ爲メニ却テ損害賠償ノ責任アルモノト云ハザルベカラズ

明治三十九年三月七日

控訴代理人

岡村 輝彦
 高橋 織之助
 平出 修

(以下略ス)

附錄終

附錄

明治四十年八月十一日印刷
明治四十年八月十四日發行

不許
複製

發賣所
發賣所
發賣所

著者兼
發行者

花岡敏夫

印刷者

松澤虹三

印刷所(電話番町)
三六九同

東京市麴町區下六番町十七番地
勞舍

(電話本局三三三番)

東京市神田區一ツ橋通町七番地二、三號地
有斐閣書房

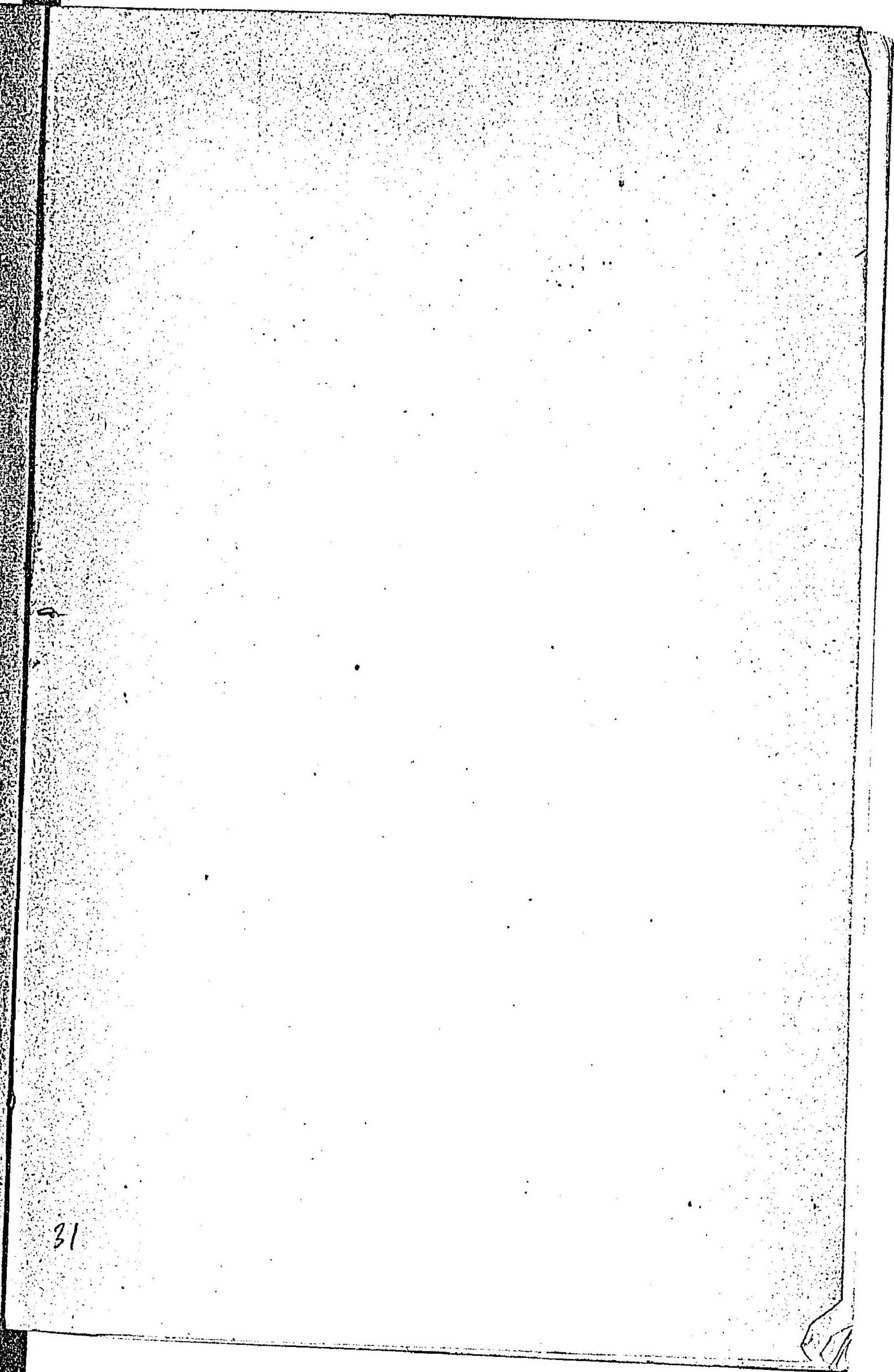
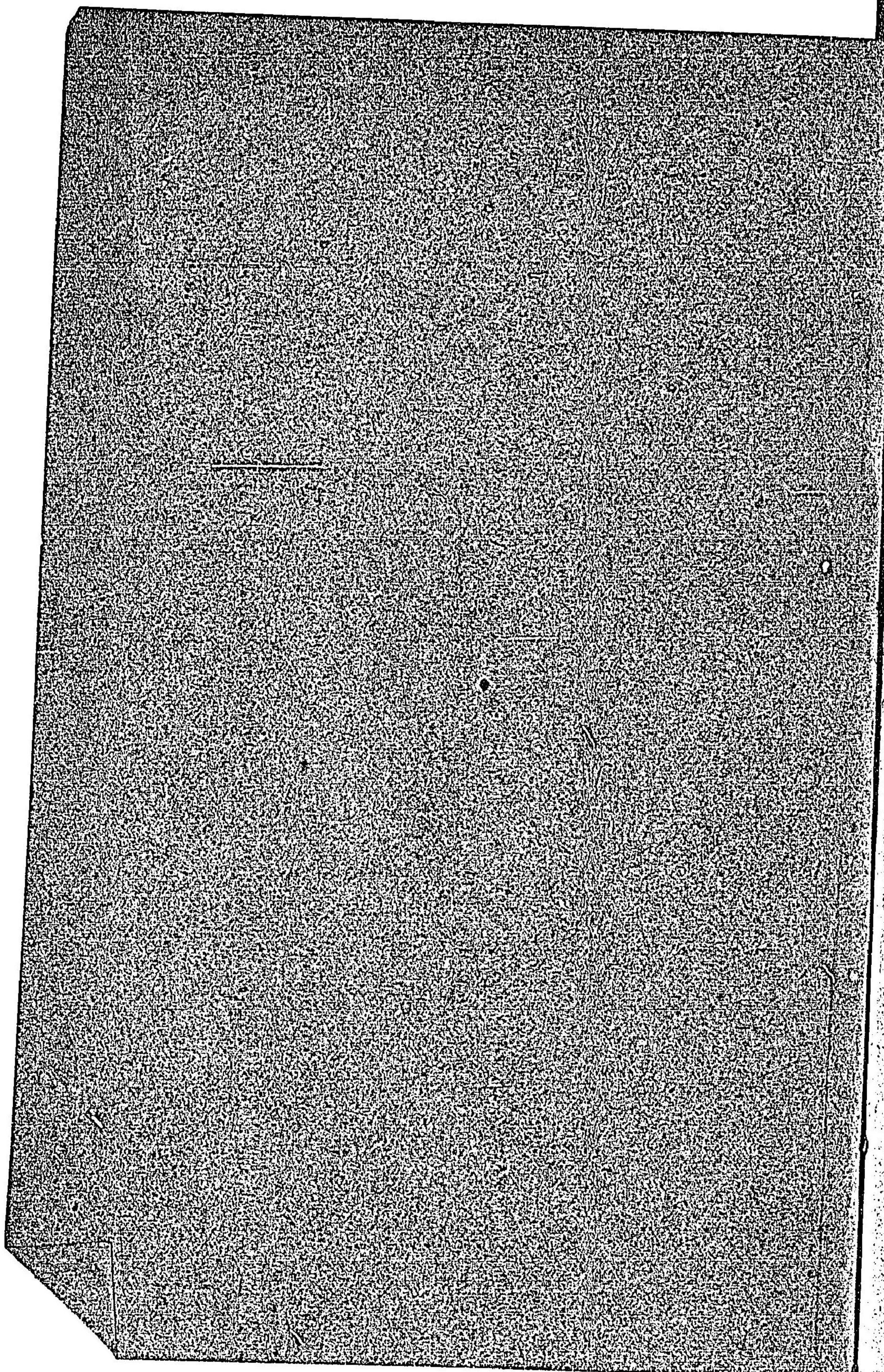
東京市本郷區有斐閣一ツ橋通町七番地四、五號地

東京市本郷區有斐閣一ツ橋通町七番地四、五號地

東京市本郷區有斐閣一ツ橋通町七番地四、五號地

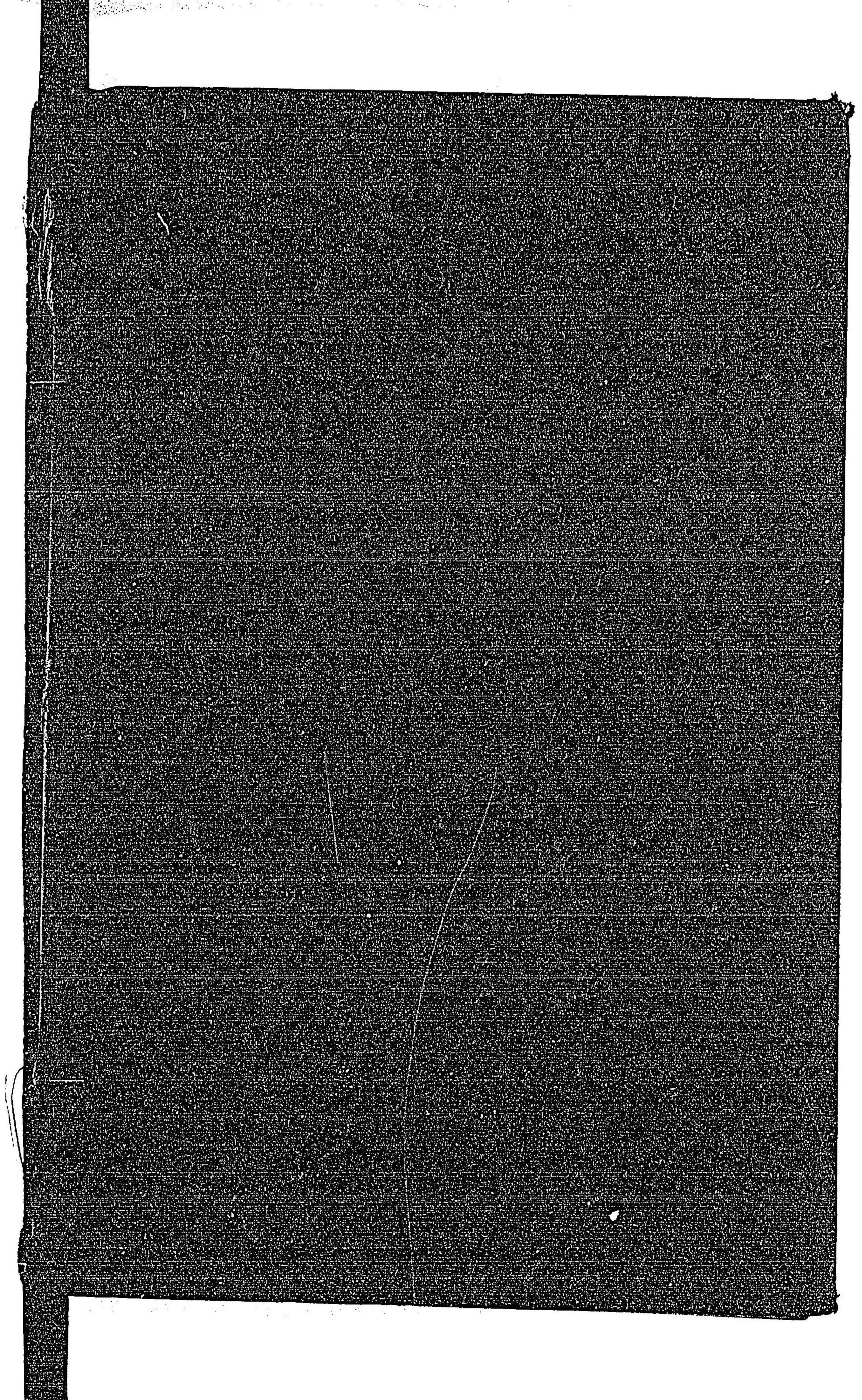
東京市本郷區有斐閣一ツ橋通町七番地四、五號地

助房店



31

76
267





035465-000-4

76-267

我法律上ヨリ観タル倉庫ト金融

花岡 敏夫/著

M40

BBO-0670



